

レイグラントイル メンテナンス資料

レイグラントイルは表面のノンワックスコーティングにより、ワックス掛けをしなくても美観を維持できます。

日常管理

日常生活で発生する汚れについては「予防清掃」と「日常清掃」を毎日行っていただくことで、長期間に渡って美しい床を保つことができます。

《予防清掃》

- ・ 室内の汚れの80%以上は外部からの持ち込みによるものです。出入口には吸水や吸塵効果のあるダスマットを敷いて、外部からの土砂の持ち込みや広がりを防止してください。そうすることで床材表面が汚れたり傷つくことを軽減できます。
- ・ マットは掃除機等で毎日清掃し、綺麗な状態を保つようにしてください。

《日常清掃》

- ・ 掃除機やダスタークロスを用いて塵やホコリをよく取り除き、固く絞ったモップや雑巾で水拭きをしてください。落ちにくい汚れには、クリーナーまたは中性洗剤を薄く溶かした雑巾等で拭き取り、さらに綺麗な雑巾等で水拭きをしてください。
- ・ 床洗浄機をご使用になる場合は、目の粗いパッドを使用すると床材表面を傷つける恐れがあるのでご注意ください。

メンテナンス上の注意

- ・ レイグラントイルはワックスを塗布しなくてもご使用いただけますが、ご使用の状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えることも可能です。その場合、帯電防止性能が求められる場所では帯電防止床材用のワックスをご使用ください。
- ・ メンテナンス時に大量の液体を使用すると、タイルの目地より水分が回り、接着剤が効かなくなって反りや突き上げが生じることがあります。フリーアクセスフロア等の二重床下地では、液体が目地より滴下し配線やOA機器に不具合が生じる恐れがあるので、ご使用になる液体量にはご注意ください。

ご使用上の注意

- ・ 濡れたり砂が付着した状態では、滑りやすく転倒事故を招く可能性があります。ダスマットなどで汚れの持ち込みを防ぎ、持ち込まれた時には早急に除去するようにしてください。
- ・ 直射日光が当たる床面は気づかぬうちに少しずつ退色することがあります。カーテン、ブラインド等で日除けなどの工夫をしてください。
- ・ 水、油類を床面にこぼした時は、滑りやすくなりますのですぐに拭き取ってください。
- ・ 汚れが付着した時はすぐに拭き取ってください。放置しておくと床材の変色、変質をきたす可能性があります。
- ・ 漂白剤、毛染め液など化学薬品を床にこぼした時は、すぐに拭き取ってください。床材の変色、変質をきたす可能性があります。
- ・ 重量物や尖った脚のものには、ゴム製品以外の保護具をつけてください。また引きずりますと傷をつける恐れがありますので移動の際にはご注意ください。
- ・ タバコの火などで焦げ跡がつきますのでご注意ください。

汚染についての注意

《ゴム汚染について》

- ・ ある種のゴム製品は、床タイルのような軟質塩ビ製品に長時間接していると、ゴムの中の成分より暗褐色に変色させる可能性がありますのでゴム製品とは直接接触させないでください。この汚染は、ゴム製品の使用を止めた後、時間を経て出る時もありますので予防として、家具の脚キャップ、机や椅子等のゴムキャップ、キャスターなどはゴム製品以外の保護具(アルミホイルまたはポリエステルシート等)を使用し、直接触れない様にして下さい。また、自転車のタイヤ等も変色させますので、床材上に放置しないで下さい。やむをえず置く場合には、床材との間に保護具を入れ直接の接触はさけて下さい。



ゴム汚染・オイルステイン汚染の防止に保護具をお使いください。

《その他の汚染について》

- ・ 染料系オイルステインなどで着色された家具類は、直接床に接触すると床タイルを変色させる可能性があります。床材との間に保護具を入れて下さい。
- ・ 粘着テープ(ガムテープ、布テープ等)は、ゴム汚染と同様の汚染が生じることがありますので、アクリル系粘着剤のテープをご使用下さい。

レイグラントイル ワックスメンテナンス資料

レイグラントイルはワックスを塗布しなくてもご使用いただけますが、ご使用の状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えることも可能です。

フリーアクセスフロアにおけるワックスメンテナンス

フリーアクセスフロアは床下に様々な配線を通してあるため、液体を使用する作業には十分な注意が必要です。特にワックスのハクリ作業は床面を濡らす量が多く、床下への漏水が起きやすいため、基本的にハクリ作業は避けることを推奨します。

ワックス皮膜に汚れが蓄積したり、皮膜が必要以上に厚く堆積してしまうと、ワックス皮膜の剥がれが生じ、ハクリ作業が必要となりますので、日頃から床面に汚れをためないよう日常の清掃を行ってください。

帯電防止性能が求められる場所では帯電防止床材用のワックスをご使用ください。

《メンテナンス推奨品》

(株)リンレイ製

表面洗浄剤	下地用樹脂ワックス	仕上げ用樹脂ワックス	ハクリ剤
NEWプロインパクト	P-711	ノンヒールネオ速乾 (耐ヒールマーク性) ノンスタック (帯電防止性)	ステックリン

初回洗浄・ワックス塗布作業

床下への漏水を抑えるため、シャンピングタイプのポリッシャーを使用し、洗剤は撒き過ぎず、また洗剤をできるだけ床面に滞在させないよう、洗浄後の汚水は素早く回収することが必要です。

《作業手順》

- ① 床面のゴミ・ホコリ等を取り除きます。
- ② NEWプロインパクト30倍希釈液を入れたシャンピングポリッシャーで、緑パッドを用い洗剤を出し過ぎないように注意しながら洗浄します。
- ③ 吸水バキュームで速やかに汚水を回収します。
- ④ 床が乾燥する前に3回水拭きを行います。
- ⑤ 床を十分に乾燥させた後、下地に「P-711」を2回塗布し、その上から仕上げ用のワックスを1回塗布します。

《作業上の注意点》

- ・必要以上に床面を濡らし過ぎないようにしてください。
- ・洗浄後は必ず固く絞ったモップで水拭きを行い、洗剤分を除去してください。
- ・ワックスを塗布する際は、ワックスを専用タンクへ移し、ワックスモップに適量浸み込ませてから塗布します。タイルの目地にワックスが浸み込むとタイルが剥がせなくなることがあります。

2回目以降の表面洗浄・ワックス塗布作業

初回洗浄同様、床下への漏水を抑えるため、シャンピングタイプのポリッシャーを使用し、洗剤は撒き過ぎず、また洗剤をできるだけ床面に滞在させないよう、洗浄後の汚水は素早く回収することが必要です。ハクリ作業を避けるため、表面洗浄の都度、汚れと一緒にワックス皮膜表層を削り取るような洗浄を行い、汚れやヒールマークを完全に除去してください。特に通行量の多い汚れやすい場所は丁寧に洗浄してください。

《作業手順》

- ① ダスターがけを行い、床面の土砂・ホコリ等を取り除きます。
- ② NEWプロインパクト50倍希釈液を入れたシャンピングポリッシャーで、緑パッドを用い洗剤を出し過ぎないように注意しながら洗浄します。(部屋の隅はハンドパッド等で洗浄してください)
- ③ 吸水バキュームで速やかに汚水を回収します。
- ④ 床が乾燥する前に3回水拭きを行います。
- ⑤ 床を十分に乾燥させた後、仕上げ用のワックスを薄く2回塗布します。

フリーアクセスフロアのハクリ作業と注意点

原則としてハクリ作業は行わないようにしますが、どうしてもハクリが必要である場合は、希釈増粘型ハクリ剤「ステックリン」を使用します。ただし、「ステックリン」を用いても全く影響がないわけではないことをご注意ください。

《作業手順》

- ① 床面のゴミ・ホコリ等を取り除きます。
- ② 3倍に希釈して増粘したステックリンをモップにつけ、塗り残しのないように床に塗ります。
- ③ 5分ほど放置してから、ハンドパッド(茶)で擦り落とします。
- ④ 速やかにウェットバキュームで回収し、直ちにきれいなモップで水拭きを3回以上行います。ハクリ残しがあった箇所は、ハンドパッドもしくはケレンで擦り取ってください。
- ⑤ 床を十分に乾燥させた後、下地に「P-711」を2回塗布し、その上から仕上げ用のワックスを1回塗布します。

《作業上の注意点》

- ・ハクリ剤の流れ込みやすい箇所や配線の接続箇所はあらかじめ養生をしてください。
- ・ステックリンは必ず正確に3倍に希釈してください。倍率が異なると増粘効果が得られにくいことがあります。
- ・ハクリ剤は一度に全面に塗布せず、10㎡づつ区切って作業を進めてください。
- ・ステックリンはポリッシャーを使用すると粘度がなくなるので、ポリッシャーは使用しないでください。
- ・ハクリ剤を必要以上に濃くしたり30分以上床面に放置すると、表面がべたつくことがあるのでご注意ください。